

指定文化財を歩

市内の指定文化財を巡る「ノルディックウオー ク」を 7月(終了)・11月・30年3月に開催します。 それぞれのコースで見ることができる指定文化財 について、連載しています。

今月は須弥寺と、その末寺にあった阿弥陀如来 立像を紹介します。

問い合わせ 社会教育課文化財係(TEL 893·8111)

(1158年) に宮寺領として、

市

指 定 ぁ文 15 財

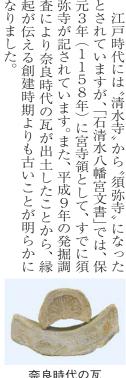
木造阿弥陀如来立像は、江戸 阿 弥だ 立方 像章 、時代に須弥寺の末寺の

に市に寄贈され、現在は、教育文化会で大切に守られてきました。平成16年 館で保管されています。 ろに廃寺となったため、 常徳庵の本尊でしたが、明治の初めご その後は地元

知ることができる資料といえます。 「安阿弥様」を基調としており、かずかに前へ踏み出すという、 この仏像はやや小ぶりな半等身像で、 鎌倉時代以降に好んで造られた作風 市内の中世における浄土教の展開 手は来迎印を結び、 左足を

末寺とすることで寺院経営を安定させま に真言宗から大念仏宗に改宗されました。 1573~1592年) に再興され、同時 と燃えてしまいましたが、その後、天正年間 また、寛文11年(1671年)に当時の 須弥寺を佐太来迎寺 (守口市) 0)

現在の須弥寺



起が伝える創建時期よりも古いことが明らか

なりました。

|好氏・松永氏との戦乱に巻き込まれ、

元亀年間 (1570~1573年)

奈良時代の瓦

須弥寺と警固観音

石清水八幡宮から迎えた「石清水八幡宮警固・十一面観 世音菩薩」は、貞観元年(859年)に字佐(大分県)から八幡 に八幡神を分霊したときに、、警護されて来られた、という 伝承を持つため、「警固観音」とも呼ばれています。

つであった

この観音像を祀るために森地区の人たちは、古来より須弥 寺に集まり、観音講などのさまざまな行事を行ってきました。



観世音菩薩



|音像を迎え、真言宗「石清水寺」を再建しました。

宮(京都府八幡市)の神官・

森宮内少輔公文が、石清水八幡宮から



広報かたの 編集と発行